

第三者評価結果報告書（総括）

報告日 平成 18 年 4 月 4 日

評価機関名	社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会		
評価実施年月	18年2月	公表年月	18年3月
対象サービス	保育所	対象事業所	伊勢原こぼと保育所

総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項）

優れている点：

○保護者アンケートでは、園のよい点として、保育士の対応について「相談に丁寧ののってくれる」「いつでも相談に対応してくれる」など、保護者の不安や心配ごとに親身に対応している姿勢が支持されている。「保育士の熱意が伝わってくる」「子どもを中心に考えてくれている」などの保育士の取り組み姿勢についても保護者が好ましく受け止めている。また、「子どもがのびのびしている」「身体を動かして遊ばせてくれる」など、自然を活かし、外遊びや泥遊びなどを取り入れて保育を行っている点などが具体的に挙げられている。

○全体的にこじんまりとしていてアットホームな雰囲気である。少人数制のクラス分けとしている。

○NPO法人(特定非営利活動法人)として地域密着型の保育所としての姿勢をとっている。

独自に工夫している点：

○年長と年中の子どもが一緒に当番活動をするなど異年齢児のかかわりをもっているほか、母の日、父の日、七夕、夏祭りなどの行事を通じて人と関わることの楽しさを味わえるようにしている。また挨拶をすることが心地よく感じられるよう、日頃から散歩で地域の人と出会ったら、保育士が率先して挨拶するように取り組んでいる。

○リズム・歌・ゲーム等を皆で行い、友達の表現を見たり、自分の姿をみてもらう機会をつくっている。子どもが自由に使えるよう、クレヨン、マジック、画用紙などを子ども自身がいつでも取り出せるようにしているほか、夏祭りのおみこしづくり、鯉のぼりづくり、お店やごっこの製作など皆で話し合っ作り上げている。

○自然にふれる戸外遊びや泥んこ遊びなどを取り入れたり、自然に恵まれた環境や少人数制を活かして、お絵かき散歩やわらべ唄の会など一人ひとりの子どもにとって楽しい保育内容となるようにしている。また同年齢、異年齢のグループづくりをし、仲間意識や優しい気持ちをもてるようにしている。

○市の作成した献立をもとにしつつ、園独自で午前のおやつは果物に、午後のおやつは手作りの軽食にして提供している。旬の野菜や無農薬の七分つき米、黒米などの食材を使い、薄味を心がけている。クラス合同やクラスごとのクッキングを行い、園の畑で栽培した野菜を調理して食べたりして、子どもの食への興味や関心を引き出すよう努めている。

<p>○地域の子育て家庭を対象に、育児相談を随時行っているほか、「親子で一緒に遊ぼう会」や「敬老お月見会」に地域の子どもを招待して、園の子ども達と一緒に遊んだり、園の給食を体験できるようにしている。園庭を開放して、地域の子どもがいつでも遊びに来られるようにしている。</p>		
<p>評価領域ごとの特記事項</p>		
1	<p>人権への配慮</p>	<p>○園児や保護者に対する適切な言葉遣いや態度については、職員会議等で取り上げ、特に家庭環境、身体・精神の成長の差異等を理解して接するようにしている。職員個々のふりかえりや職員会議等での全体のふりかえりを行っている。</p> <p>○神奈川県個人情報保護条例に基づく「個人情報取扱業務登録」をしている。「個人情報保護規程」「個人情報に関する方針」「こぼと会職員倫理規程」に沿って、職員会議や施設内研修等で職員の意識の共有化をはかっている。</p>
2	<p>利用者の意思・可能性を尊重した自立生活支援</p>	<p>○家庭との連絡・情報交換は、「家庭からの意見・要望取り扱い要領」を定め、連絡帳、園だより、クラス便りなどで日常的なやりとりを密にしている。</p> <p>○家庭の意向や希望については、園だより、クラス便り、連絡帳のほか、クラス懇談会(年2回)、随時の個別面談のほか、保護者会(年2回)にも出席して、把握に努めている。</p>
3	<p>サービスマネジメントシステムの確立</p>	<p>○保育室の温度、湿度、換気に注意を払い、マニュアルに基づき各保育室に温度計、湿度計を設置し、3時間おきに記録をとっている。おもちゃの消毒は週1回実施し、砂場は掘り返して日光による消毒を行っている。テラス等園舎や設備の改善案や保育室内外の危険箇所の発見・修理を行っている。</p> <p>○救急事態発生時への体制として、3年前に全職員が救急救命士による研修を受講し、以後、2～3名ずつ受講し、職員会議、研修会で研修報告を行って職員の周知をはかっている。</p>
4	<p>地域との交流・連携</p>	<p>○地域の子育て家庭との交流をはかるため「親子で一緒に遊ぼう会(年2回)」を実施、こぼとまつりなどの世代間交流会を年3回実施している。園庭はいつでも開放し、地域の子育て家庭が気軽に園を利用できるようにしている。</p> <p>○社会福祉協議会と連携して、地域の中学校の体験学習に協力している。</p>
5	<p>運営上の透明性の確保と継続性</p>	<p>○職員会議で意見を出し合いながら、保育ガイドラインに沿って、保育内容の自己評価を毎月実施している。</p> <p>○ホームページを設置し、情報開示や情報提供を行っている。</p>

		保育参観や保育参加は常に受け入れている。
6	職員の資質向上促進	<p>○職員倫理規程を玄関に掲示し、職員会議や研修会で職員の基本姿勢について共有化をはかっている。</p> <p>○外部研修の研修成果の共有のため、外部研修に参加した職員は職員会議の中で報告を行っている。研修報告書はいつでも職員が閲覧することができるようにファイルしている。</p>